

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-201147

(P2010-201147A)

(43) 公開日 平成22年9月16日(2010.9.16)

(51) Int.Cl.		F 1		テーマコード (参考)
A 4 7 L 25/00	(2006.01)	A 4 7 L	25/00	Z
A 6 1 C 15/00	(2006.01)	A 6 1 C	15/00	

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2009-90506 (P2009-90506)
 (22) 出願日 平成21年2月27日 (2009.2.27)

(71) 出願人 509093886
 照澤 良介
 北海道釧路市美原2丁目15番1号
 (72) 発明者 照澤 良介
 北海道釧路市美原2丁目15番1号

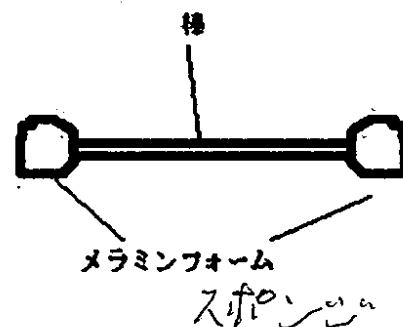
(54) 【発明の名称】 メラミンフォーム棒

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】家庭から出る汚れや歯の汚れしみを取る綿棒を提供する。

【解決手段】メラミンフォーム（スポンジ）を採用することにより、汚れやしみに特に歯に付いた、やに、紅茶、コーヒー、等によるしみを取ることが出来る。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

棒の先端にメラミンフォーム（スポンジ）を接着したもの。

【請求項 2】

棒の末端にメラミンフォーム（スポンジ）を接着したもの。

【請求項 3】

棒の先端や末端にメラミンフォーム（スポンジ）を接着したもの。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

10

本発明は、落としづらい汚れや、しみを綿棒より取りやすくするものである。

【0002】

従来の綿棒とは違い光沢のあるものには適さないがステンレスや金物などの汚れに対応する。

【0003】

歯に付いた、やに、紅茶、コーヒー、お茶、のしみを取る。

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】**

家庭から出る汚れや歯の汚れしみを取ること。

【課題を解決するための手段】

20

【0004】

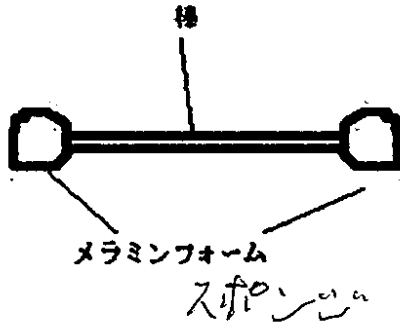
綿棒状の本品はメラミンフォームを濡らし、こすり付けることで汚れを取ることが出来る。

【発明の実施するための最良の形態】

棒にメラニンフォームを接着する。

水に濡らし、絞った後、使用する。

【図 1】



【手続補正書】

【提出日】平成21年6月10日(2009.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の詳細な説明】

【0001】

本発明は、落としづらい汚れや、しみを綿棒よりも取りやすくするものである。

【0002】

従来の綿棒とは違い光沢のあるものには、適さないがステンレスや金物などの汚れに対応する。

【0003】

歯に付いた、紅茶、コーヒー、お茶、やに、のしみを取る。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

家庭から出る汚れや、歯の汚れしみを取る。

【課題を解決するための手段】

【0004】

綿棒状の本品はメラミンフォームを濡らし、こすり付けることで汚れを取ることが出来る。

【発明を実施するための最良の形態】

棒にメラミンフォームを接着する。

水に濡らし、絞った後、使用する。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 5 】

【図 1】プラスチック・木製の棒に、メラミンフォームを先端に接着する。

【 0 0 0 6 】

【図 2】プラスチック・木製の棒に、メラミンフォームを末端に接着する。

【 0 0 0 7 】

【図 3】プラスチック・木製の棒に、メラミンフォームを両側に接着する。また、棒の形状は、円柱、メラミンフォームは、丸い型をしている。衛生的に汚れた側に触らないように片側を使用後、紙などで、包んで片側を使用する。

【 手 続 補 正 2 】

【補正対象書類名】図面

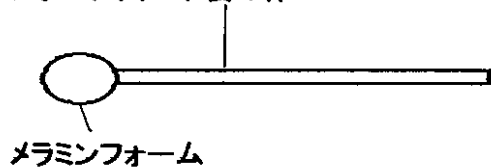
【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正の内容】

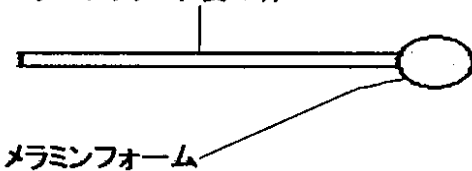
【 図 1 】

プラスチック・木製の棒



【 図 2 】

プラスチック・木製の棒



【 図 3 】

プラスチック・木製の棒

